

Microsoft 365 移行 with FLY

移行をスムーズに完了! 3 ステップのシンプル移行

移行プロジェクトを 3 ステップでスムーズに実行



STEP 1:

分析

移行すべきデータなのか・破棄しても問題ないデータなのかを、移行前に分析・決定

既存の情報アーキテクチャを分析し、潜在的リスクや失敗の起こりうる箇所を特定し、移行プロジェクトのプランを改善

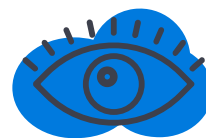


STEP 2:

移行

ドライブ・メール インスタンス・サイト コレクション全体も個別のリスト・ライブラリも、簡単なドラッグ&ドロップ操作で目的なエンド ゴールにアーカイブ

移動のマッピング・フィルター・スケジュールの構成とリアルタイムで移行の実行の両方に対応



STEP 3:

モニタリング

移行のステータスと進行状況をダッシュボードで把握

移行進行状況を検証し、主要なアクションをレポート化

自動アップデートをステークホルダーに直接送信

Microsoft 365 移行なら FLY



AvePoint が提供する移行ツール FLY (フライ) は、顧客のオンプレミスおよびクラウド ベースのメール・ファイル共有・コラボレーション コンテンツをまとめて Microsoft 365 に移行することを可能にするツールです。

タイトなスケジュール・予算の制約などの難問は、FLY が解決いたします。


「ユーザー アカウント数」「ユーザー 1 人あたりの移行データ量」の 2 タイプ ライセンスで、使用用途に合わせた柔軟なご利用が可能となります。

STEP 1:

 移行前分析

- **リスクの把握:** カスタマイズ Web パーツやサイト テンプレート、Web ページ、グループ等を移行前に検知し、適切なアップデートやマッピング、削除などのアクションを可能にします。
- **移行関連詳細情報の把握:** 既存の情報アーキテクチャ、データ サイズ、ユーザー数、ワークフロー、サイト アクティビティレベル、カスタマイズ等の詳細情報を分析・把握します。CSV 形式のエクスポートで、さらに深い分析が可能となります。
- **移行プランの作成:** 範囲、フィルター ポリシー、方法、スケジュール等を定義し、顧客のプロジェクト タイムラインに沿った移行プランを作成します。作成した移行プランは、再利用が可能です。プラン グループ機能は、複数の移行元にスケジュールを一括適用できるため、業務効率化を図ることができます。

STEP 3:

 移行ダッシュボードおよび Power BI テンプレートによるモニタリング

- **進行状況トラッキング:** 移行ステータスと進行状況を移行ダッシュボードで確認可能です。SQL 接続を構成して、移行データベースを活用することも可能です。Power BI テンプレートを構成することで、スロットリング・パフォーマンス・移行状況の詳細なレポートを動的に表示することも可能です。
- **移行プロジェクト検証:** 移行のデータ量、サイト・リスト・ライブラリ・アイテム等のコンテンツ数をレポート化することにより、移行元と移行先における移行ジョブの傾向が把握できます。
- **Outlook の自動構成:** FLY アシストをインストールすることで、Outlook の最終的な構成タスクが自動完了できます。また、FLY アシストのダウンロード方法や設定手順をエンド ユーザーにメールで送信することも可能です。
- **エグゼクティブ レポート分析:** ジョブ数とジョブ ステータス、オブジェクト数とオブジェクト ステータス等の移行中のアクションや移行トレンド分析を示すエグゼクティブ レポートをダウンロード・メール送信することが可能です。

STEP 2:

 FLY サーバー・デスクトップを使用した移行

- **簡単なドラッグ&ドロップ操作:** オンプレミス (SharePoint 2010/2013/2016/2019・Exchange・Exchange パブリック フォルダー・PST ファイル・ファイル共有) またはクラウド (Google ドライブ・Gmail・IMAP/POP3 メールボックス・Slack・Box・Dropbox・Teams・その他の Microsoft 365 インスタンス) 等の幅広い元環境から、Microsoft 365 へ簡単なドラッグ&ドロップ操作で移行します。
- **高速移行:** Microsoft の規定ベスト プラクティスを活用して移行を高速化します。プライム API により、移行範囲内のコンテンツを Azure BLOB ストレージに一括アップロードします。また、Microsoft 365 の認証にアプリ トークンを使用することで、スロットリングを低減することができます。
- **必要なコンテンツのみ移行:** プロパティやメタデータに基づきコンテンツをフィルターし、最小単位オブジェクト (Web パーツ・ナビゲーション・アプリ・ビュー・権限・コンテンツ) の要不要を判定することにより、必要なコンテンツのみを移行します。
- **テナント間移行:** SharePoint Online・Exchange Online・Teams・Groups の異なる Microsoft テナント間移行に対応しています。
- **データ変換:** 包括的なマッピング設定により、異なるシステムからのデータも適切に対応・保持します。
- **Microsoft 365 既存機能を活用:** メールボックスを移行先のグループ タイプに変換したり、メタデータを管理されたメタデータあるいはラベルにマッピングしたりできるだけでなく、コンテンツをチームのサイトへ移行する等の操作も可能です。
- **最適なタイミングで移行:** スケジュールを設定した自動実行とリアルタイム操作の両方に対応しています。
- **失敗したジョブ・一旦停止したジョブの再開・再実行:** 失敗あるいは一旦停止したジョブの再開や、失敗したファイル・アイテムの修正後にジョブの再実行が可能です。

購入方法に関するお問い合わせ

電話: 03-6853-6300 | Email: PAM_JP@avepoint.com

無料試用版: elements.avepoint.com/jp/try

AvePoint Japan 株式会社

〒108-0074 | 東京都港区高輪 4-10-18 | 京急第一ビル 11F